

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	株式会社サンエイ	都道府県	広島県
業種	卸売業、小売業	従業員数	27人
事業概要	PCネットワーク環境及びセキュリティー環境の構築・保守 オフィスの生産性向上に関するコンサルティング OA機器全般、業務ソフトウェア販売・保守等		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務規程
テレワーク担当部署	研究開発部
テレワーク対象者	26人
実施者数	26人
実施日数	月12回以上20回未満程度

## テレワークの導入・拡大の経緯

素地として、PCネットワーク・セキュリティー環境構築・保守をメイン業務としており、ペーパーレス化、フリーアドレス化の生産性向上に対する有効性は従来から理解しており、2016年に営業全員にiPadを支給した頃がスタートとなる。その後も主として自社の生産性向上を目的として様々なクラウドサービスのトライ＆エラーに積極的に投資してきたが、政府による「働き方改革」が提唱されて以降、企業が少子高齢化に対処する最重要課題であることを認識し、「地域企業がなかなか踏み込めないレベルのテレワークを一步先んじて実証する」という目的をもって取り組みを継続している。在宅ワークについては、事務部門の2名が産休に入り復職後は短時間勤務でがんばっていたが、やはり急に休まざるをえないことが多々あり2017年より在宅ワークのトライアルに入る。当初は「仕事がやりにくくなるのでは？」と実施する本人たちの抵抗にあうが、実際に行ってみると「子供が喜んでくれた」「思った以上に集中でき、仕事がはかどる」など、大変好評を得る。在宅ワークのインフラ整備、就業規則の改定などを行い現在も欠かすことができない仕組みとして改善を継続中。

## テレワークの概要・特徴

いつでも・どこでも働ける環境(IT・セキュリティー)を構築、また外出するメンバーに対してスマホやタブレット、モバイルパソコンを整備。

子育て中の女性社員に対しては積極的な在宅ワークを推奨しています。女性社員には月2回の在宅ワークを実施中です。急な休みにも在宅ワークによる仕事への対応を可能にしています。

また自社実践による生産性アップを数値で見える化させながら効率と時間短縮を同時に取り組んでいます。

当社お客様に対して自社実践している働き方をノウハウ提供としてのオフィス見学も実施中、地域におけるお客様にも生産性向上のお役立ちをさせて頂いています。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 残業時間短縮
  - ・電子化による伝票手入力の削減
  - ・残業時間のパフォーマンスについて(前年比)  
営業チーム:25.3%減・Eサポートチーム:39.2%減・サービスチーム:64.4%減・事務:51%減
- 業務改善実施による経費削減効果
  - ・ペーパーレス化による前年比30%DOWN
  - ・会議回数:4回→1回へ
  - ・社内SNSによる社員同士による電話やり取り減、ヌケモレ減・二度手間削減
  - ・事務業務の自動化(入金消込自動化・仕入データデータ取込み)
  - ・棚卸し毎月/1回 → 3ヶ月/1回へ変更
- テレワークによる効果
  - ・営業チーム・サービスのフリーアドレス採用による不要なドキュメント削減
  - ・営業プロセスマネジメントによるプロセスの見える化
  - ・直行直帰の実施による移動時間&コスト削減
  - ・営業チーム一人あたりの平均アクション件数の増加
  - ・インフルエンザによる最大8名休んでも業務停止をせずに済んだ
  - ・セミナーや展示会への積極的な参加促進
- 社員の資格取得
  - ・残業時間削減により勉強する時間確保が行うことができ資格取得が向上  
(情報セキュリティマネジメント:8名合格)